

平成２８年度
建設局予算要求方針

【目 次】

- １ 平成２８年度建設局予算要求総括表及び経営方針・・・・・・・・１
- ２ 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・・・・３

1 平成28年度建設局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成28年度建設局予算要求総括表

【一般会計】

平成28年度要求総額 30,889,935千円

(平成27年度当初予算額 28,242,045千円)

前年度比 + 9.4%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額 A	平成27年度 当初予算額 B	増 減 A-B
道路・街路事業	21,646,389	19,809,423	+1,836,966
河川事業	2,851,079	2,229,092	+ 621,987
公園事業	5,327,259	5,003,896	+ 323,363

【土地取得特別会計】

平成28年度要求総額 3,000,000千円

(平成27年度当初予算額 2,041,020千円)

前年度比 + 47.0%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額 A	平成27年度 当初予算額 B	増 減 A-B
街路事業	3,000,000	2,041,020	958,980

平成28年度 建設局当初予算総括表

【一般会計】 9款土木費

(単位：千円)

区分	H28当初予算 (要求額)	H27当初予算	増減額	前年度対比
道路事業	13,298,000	12,567,510	730,490	5.8%
街路事業	6,422,600	5,432,331	990,269	18.2%
道路・街路事業 計	19,720,600	17,999,841	1,720,759	9.6%
河川事業	2,480,500	1,889,957	590,543	31.2%
公園事業	2,681,400	2,374,624	306,776	12.9%
その他	100,000	245,820	△ 145,820	△ 59.3%
投資的経費	24,982,500	22,510,242	2,472,258	11.0%
道路事業	1,925,789	1,809,582	116,207	6.4%
河川事業	370,579	339,135	31,444	9.3%
公園事業	2,645,859	2,629,272	16,587	0.6%
維持管理経費 計	4,942,227	4,777,989	164,238	3.4%
その他行政経費	965,208	953,814	11,394	1.2%
行政経費	5,907,435	5,731,803	175,632	3.1%
一般会計	30,889,935	28,242,045	2,647,890	9.4%
うち 道路・街路事業	21,646,389	19,809,423	1,836,966	9.3%
うち 河川事業	2,851,079	2,229,092	621,987	27.9%
うち 公園事業	5,327,259	5,003,896	323,363	6.5%

*土木職員費は除く。

【特別会計】

(単位：千円)

区分	H28当初予算 (要求額)	H27当初予算	増減額	前年度対比
土地先行取得費 (街路事業)	3,000,000	2,041,020	958,980	47.0%
土地取得特別会計	3,000,000	2,041,020	958,980	47.0%

【合計（普通会計）】

(単位：千円)

区分	H28当初予算 (要求額)	H27当初予算	増減額	前年度対比
合計（普通会計）	33,889,935	30,283,065	3,606,870	11.9%

（２）平成２８年度建設局経営方針

建設局においては、人にやさしく活力あるまちの実現を目指し、「元気発進！北九州」プランと「北九州市新成長戦略」の推進を図るため、都市基盤の充実や、安全で安心なまちづくりなどとともに、地域拠点の魅力アップにつながる施設整備を推進します。このため、次の５つの方針に基づき、限られた財源の中で、「選択と集中」による効果的な事業の推進に努めます。

- １ 真に必要な都市基盤の着実な整備
- ２ 安全で安心な都市整備の推進
- ３ 都心・副都心、地域拠点の魅力アップ
- ４ 暮らしに身近なまちづくり整備の推進
- ５ 都市基盤の適正な管理と長寿命化の推進

具体的には、

「１ 真に必要な都市基盤の着実な整備」では、本市産業の競争力強化や、魅力的な都市を形成するため、主要幹線道路など基盤施設の整備を推進します。

「２ 安全で安心な都市整備の推進」では、通学路の安全対策、橋梁の耐震化や旦過地区まちづくりに資する河川整備事業など、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

「３ 都心・副都心、地域拠点の魅力アップ」では、小倉駅・黒崎駅前の歩行空間の整備や小倉都心部の集客対策など、まちのにぎわいづくりを推進します。

「４ 暮らしに身近なまちづくり整備の推進」では、地域に役立つ公園づくりや地域ニーズに対応した身近な道路の維持補修など、地域の声を聞きながら、地域主体のまちづくりを推進します。

「５ 都市基盤の適正な管理と長寿命化の推進」では、橋梁やトンネルの長寿命化に取り組むとともに、市民との協働による適正な維持管理を行います。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

1 真に必要な都市基盤の着実な整備

本市産業の競争力強化や、魅力的な都市を形成するため、主要幹線道路など都市基盤施設の整備を推進します。

V-2・継続

☀ 主要幹線道路の整備

7,276,800 千円

主要な街路・道路を重点的かつ速やかに整備し、市内の渋滞対策、物流ネットワークの機能強化、地域間の連携・交流促進を図ります。

- ◆ 国道 3 号黒崎バイパス、戸畑枝光線、恒見朽網線、砂津長浜線、国道 199 号砂津バイパス など



Ⅲ-1・継続

☀ 拠点公園の整備（(仮)曾根豊岡地区公園）

330,000 千円

小倉南区の曾根豊岡地区において、曾根干潟に隣接する恵まれた自然環境などを活用し、多目的グラウンドや野鳥観察施設などを整備します。



☀ 主要河川の整備

市内を流れる主要な河川について、浸水被害を未然に防ぐため、計画的に河川改修を進めます。

◆紫川、神嶽川、相割川、金山川、江川 など

1,542,000 千円



～江川整備状況～

2 安全で安心な都市整備の推進

通学路の安全対策、橋梁の耐震化、旦過地区まちづくりに資する河川整備事業などに取り組み、より安全で安心な都市整備を推進します。

Ⅲ-1・継続

☀ 通学路の安全対策

972,000 千円

児童が安全に通学できる環境を整えるため、「北九州市通学路交通安全プログラム」に基づき、教育委員会や学校関係者、警察と連携し、通学路の安全対策を推進します。



Ⅱ-1・拡充

☀ 旦過地区まちづくりに資する河川整備事業（拡充） 432,000 千円

【402,000 千円は「主要河川の整備」の再掲】

長年市民に親しまれている旦過市場の治水安全度を高め、さらに魅力ある市場とするために、神嶽川の改修と一体となった旦過市場の再整備について地元と協働で推進します。

平成28年度は、市場対岸の護岸整備と共に旦過地区の再整備について、平成30年度の整備着手に向けて、地元と協働して事業計画の策定を推進します。



～浸水状況（平成22年7月）～

Ⅱ-1・継続

☀ 災害時における緊急輸送道路の確保

1,307,600 千円

災害時に重要な役割を果たす緊急輸送道路に架かる橋梁の耐震補強などを実施します。

- ◆徳力葛原線（葛原跨線橋）、
有毛引野線（夕原第二跨線橋）など



3 都心・副都心、地域拠点の魅力アップ

小倉駅・黒崎駅前の歩行空間の整備や小倉都心部の集客対策などまちのにぎわいづくりを推進します。

IV-4・継続

☀ 小倉駅・黒崎駅前ののにぎわいづくりの推進

1,689,000 千円

北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる歩行空間の整備を行い、まちのにぎわいづくりを推進します。

- ◆小倉駅南北公共連絡通路、
黒崎駅南北自由通路、
黒崎駅ペDESTリアンデッキ など



IV-4・継続

☀ 小倉都心部集客アクションプラン推進事業

289,000 千円

【4,000 千円は「勝山公園等民間活力導入事業」の再掲】

市民や来街者の行動範囲を広げ、滞在時間を延ばすため、公共空間の魅力アップや、歩いてみたくなる歩行空間の整備などに取り組みます。

IV-4・新規

☀ 勝山公園等民間活力導入推進事業

4,000 千円

勝山公園及びあさの汐風公園において、さらなる賑わい創出を推進するために、「指定管理」や「設置許可」による民間活力導入を検討します。

4 暮らしに身近なまちづくり整備の推進

地域に役立つ公園づくりや、地域ニーズに対応した身近な道路の維持補修など、地域の声を聞きながら、地域主体のまちづくりを推進します。

Ⅲ-1・継続

☀ 地域に役立つ公園づくり事業

183,100 千円

小学校区を基本に既存の公園の再整備について、幅広く地域の意見を聞きながら公園の計画づくりを行い、地域住民と協働して、地域ニーズにあった公園へと改修します。



～ワークショップの状況～

Ⅱ-2・継続

☀ 健康づくりを支援する公園等整備事業

17,000 千円

【うち 7,000 千円は、「市民による地域のまちづくり整備事業」(P8)の再掲】

専門家の助言のもと、介護予防に効果的な7種類の健康遊具をセットで配置して、市民の健康づくりの拠点となる公園を整備します。

また、ウォーキングを通じた健康づくりをサポートする路面表示などを実施します。

※ 健康遊具整備後は、保健福祉局が運動教室等を行い、継続的な健康づくりを普及啓発します。



～公園を活用した健康づくりイメージ～

Ⅲ-1・継続

☀ バリアフリーのまちづくりの推進 878,902 千円

【うち 293,000 千円は、「通学路の安全対策」(P4)の再掲】

誰もが安全・安心で快適に暮らせる生活空間づくりを目指すために、歩道や公園などのバリアフリー化（段差の解消、手すり設置、エレベーター設置など）を推進します。

Ⅵ-2・継続

☀ 自転車利用環境の整備 125,584 千円

環境負荷の少ない自転車の利用を促進するため、安全で快適な自転車利用環境の整備を進め、低炭素型のまちづくりを推進します。

Ⅵ-4・継続

☀ 登山道・遊歩道の整備 14,000 千円

山歩きの魅力を充実させるため、眺望スポットの樹木剪定や案内板の設置など、登山道・遊歩道の整備を行います。

Ⅲ-1・継続

☀ 市民による地域のまちづくり整備事業 732,200 千円

市民の声を聞きながら、地域ニーズに対応した身近な生活道路・公園・河川の環境整備や維持補修などの充実を図り、区における地域主体のまちづくりを推進します。

5 都市基盤の適正な管理と長寿命化の推進

市民共有の財産である都市基盤を健全な状態で維持するため、橋梁やトンネルの長寿命化に取り組むとともに、市民との協働による適正な維持管理を推進します。

V-3・継続

✿ 桃園公園施設再配置計画策定事業

10,000 千円

スポーツ・文化施設等の老朽化が進む桃園公園について、これまでの広域的・長期的な視点からの施設のあり方検討を踏まえ、施設再配置計画の策定に着手します。

V-3・継続

✿ 橋梁等の長寿命化の推進

2,864,100 千円

【1,307,600 千円は「災害時における緊急輸送道路の確保」(P5)の再掲】

橋梁やトンネル、モノレール軌道において、効率的かつ効果的な施設の維持管理を図るため、アセットマネジメント（※）の考え方を取り入れ、定期的な点検の結果に基づき、施設の状態に応じた計画的な保守工事を行うなど、施設を長持ちさせる維持管理を推進します。

※アセットマネジメントとは、施設の状況把握と分析に基づき、問題箇所の早期発見と適切な対応や効果的な修繕による予防保全などを行い、中長期的な視点でより効率的かつ効果的な資産管理を行う方法です。



～トンネル点検の様子～

Ⅲ-3・継続

☀ 道路サポーター事業 17,810 千円

道路の清掃や花壇の手入れなどのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民と協働による美しい道路環境づくりにつなげていきます。



「道路サポーター活動状況」

Ⅲ-3・継続

☀ 公園愛護会補助事業 5,635 千円

公園の除草や清掃、花壇づくりなどのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民との協働による美しい公園づくりに努めます。



「公園愛護会活動状況」

Ⅲ-3・継続

☀ 河川愛護団体補助事業 340 千円

河川の清掃や草刈などのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民との協働による河川環境の保全に努めます。



「河川愛護団体活動状況」